



学園東小学校

所在地 小平市学園東町二丁目15番1号
 電話 042-344-6801 FAX 042-344-6802
 電子メール gakkou@19.kodaira.ed.jp
 校長 阿原 正人 副校長 植木 陽子
 児童数 371名 学級数 13学級
 教職員数 20名

【沿革】 (抜粋)

- 昭和52年 小平市立学園東小学校開校 プール完成
- 53年 校章決定 体育館工事完了 つげの木200本植樹
- 62年 創立10周年記念式典挙行
- 平成9年 創立20周年記念式典挙行
- 13年 東京都学校給食優良校表彰
- 15年 学校給食優良校文部科学大臣表彰
市研究推進校・協力校研究発表会 (生活科・総合的な学習の時間)
- 18年 コミュニティホール設置
- 19年 創立30周年記念式典挙行
- 20年 耐震補強工事・バリアフリートイレ設置
- 21年 「放課後子ども教室」開始
- 22年 太陽光発電設備設置
市研究推進校・研究発表会 (国語)
- 25・26年 コミュニティ・スクールの推進への取組研究
委託校 (文部科学省)
- 27年 コミュニティ・スクールに指定
- 28年 キャリア教育表彰 (文部科学大臣)
給食民間委託開始
- 29年 東京都体力向上推進優秀校表彰
創立40周年記念式典挙行
- 30年 市特色ある教育活動推進校 (体力向上)
- 令和3年 東京都体力向上推進優秀校表彰
- 4年 特色ある教育活動推進校
租税教室感謝状 (東村山税務署) 表彰
- 5年 特色ある教育活動推進校
校舎外壁塗・装屋上防水工事、プール改修工事
- 6年 体育館空調設備設置



働く消防の写生会
(社会・図画工作)

【教育目標】

- 「やさしく 元気な がんばる子」
- ◎「思いやりのあるやさしい子」
人・生き物・ものにやさしく接し、思いやりの心をもってともに生きていくことができるこどもの育成を図る
- 「心も体も元気な子」
基本的な生活習慣を確実に定着させ、健康・安全に留意して生活することができるこどもの育成を図る
- 「目標をもってがんばる子」
基礎・基本の学力を確実に定着させ、主体的に学び、自律できるこどもの育成を図る

【教育目標を達成するための基本方針】

笑顔と夢があふれ コミュニティで 育む 学園東小
～人にやさしく 自分につよく 元気にがんばる こどもの育成～

1 学力向上

- ・「学園東小これだけは (授業編)」の活用と研究授業、OJTによる授業改善 (分かる喜びと学ぶ楽しさ)
- ・基礎基本の定着と学力の向上、「学園東小これだけは (学習編)」の実施
- ・交換授業による教科担任制
- ・学校図書館の充実 (読書活動の推進、調べ学習の支援等)
- ・ICT機器の活用 (学習者用端末、実物投影機、大型テレビ、デジタルカメラ等) による授業改善
- ・地域とかかわる学習の開発や充実
- ・家庭学習の習慣化について家庭への呼びかけ

2 体力向上

- ・体力調査の結果を生かした体育授業の工夫・改善
- ・外遊びの奨励や体力向上にかかわる取組の日常的な推進
- ・体育朝会 (運動サーキット) 等の実施 (1校1取組)
- ・生活安全 (防犯教育)、交通安全、災害安全に関する指導の充実

3 健全育成

- ・いじめをはじめとする差別や人権侵害を許さない、自分と他の人の大切さを認める人権教育の推進 (「人権教育プログラム」の活用、学年人権集会の実施)
- ・合意形成できる力を養う学級活動の充実 (こだいら特別活動に日を中心とした全校的取組)
- ・「学園東小これだけは (生活編)」を活用した全校共通の指導、あいさつ運動の実施、いじめの解消・不登校への組織的な対応の徹底
- ・たてわり班活動による異年齢集団の交流、ふれあい活動
- ・多様性を尊重し、誰もが自分らしく安心して生活できる取組の推進

4 特別支援教育の推進

- ・インクルーシブな視点による学級・学校づくりを行い、全てのこどもが授業に集中し、周囲とよりよく関わられるようにする。
- ・特別支援教育コーディネーターを中心とした組織的な支援体制 (こども支援委員会) を確立するとともに、スクールカウンセラー、特別支援教室巡回教員・専門員、各関係機関との連携を深める。

5 キャリア教育の推進

- ・コミュニティ・スクールとして家庭・地域と連携し、地域力を活用して、地域参画型授業を積極的に取り入れたキャリア教育を進め、地域とともにある学校づくりを目指す。
- ・児童が主体的に自分の進路を選択する能力・態度を育成し、自己のよさを伸ばせるキャリア教育の充実を図る。



上宿小学校

所在地 小平市小川町一丁目327番地
 電話 042-345-0041 FAX 042-345-0056
 電子メール gakkou@20.kodaira.ed.jp
 校長 齊藤 祐介 副校長 井出 史進
 児童数 296名 学級数 12学級
 教職員数 19名



◎「ニコニコの庭」◎
 園芸委員会の児童と地域の方が共に整備する、開校40周年記念憩いの広場

【沿革】(抜粋)

昭和55年 小平市立上宿小学校開校
 校章制定
 56年 校歌制定
 57年 「全日本よい歯」の学校表彰を受ける。
 プール落成
 小平市研究奨励校として研究発表会(体育)
 62年 理科流水実験・観察池完成
 平成元年 開校10周年記念式典
 11年 開校20周年記念式典
 12年 パソコン教室完成
 14年 小平市研究推進校(国語)
 ボランティア活動協力校(平成14～16年度)
 東京都学童農園設置モデル校
 15年 小平市研究協力校研究発表会(国語)
 16年 プール改修工事(温水シャワー・床等)
 17年 小平市「特色ある教育活動」推進校(算数)
 ボランティア活動推進校(平成17～19年度)
 小平市「特色ある教育活動」推進校研究報告会(算数)
 21年 耐震補強工事
 22年 開校30周年記念式典
 23・24年 東京都スポーツ教育推進校指定
 25年 「特色ある教育活動」推進校(健全育成)
 26～28年 東京都オリンピック・パラリンピック教育推進校
 28・29年 小平市教育委員会研究推進校(共尊感情)
 29年 上宿小キャラクター制定
 令和元年 開校40周年記念式典
 ニコニコの庭・記念ソング完成
 3年 東京都型学校運営協議会設置
 学習者用端末配布
 4年 コミュニティ・スクールに移行
 4・5年 特色ある教育活動推進校
 7年 特色ある教育活動推進校

【教育目標】

日本国憲法、教育基本法に則り、公教育としての責任を明確にし、東京都及び小平市の教育目標を踏まえ、心身ともにたくましく知性と感性の豊かな児童の育成を目指して次の目標を設定する。

- やさしい子 ～豊かな人間性～
 相手の心情を考えるやさしさと連帯性の育成
- ◎かしこい子 ～確かな学力～
 豊かな情操に支えられた創造的思考力の育成
- がんばる子 ～たくましさ～
 ねばり強く追求する意志力の育成
- じょうぶな子 ～健康・体力～
 心身ともに健康で前向きに生きる力の育成

【教育目標を達成するための基本方針】

「学ぶことが楽しい」「人と関わることが楽しい」「人の役に立ててうれしい」「こどもが夢中になって取り組む姿を見られてうれしい」など立場によって感じる「楽しさ」は多様である。児童・保護者・地域の方・教職員が協働して誰もが楽しさを感じながら、こどもたちの成長を支える学校づくりを行う。

- (1) コミュニティ・スクール(学校経営協議会)の取組
 - ①コミュニティ・スクールとして、保護者と地域と学校で目標、目的を共有し、地域の特色を生かした教育活動を実施し、地域と協働した学校づくりを行う。
 - ②学校だより、学校ホームページ、学級HP、学習者用端末等を活用し、情報発信を行う。
 - ③学校経営協議会が中心となった保護者、地域に向けた教育課程説明会を行う。
- (2) 学校教育目標の具現化における取組
 - ①かしこい子(学力向上)
 - ・明確な「めあて」の提示と「振り返り・まとめ」のある授業をスタンダードにする。
 - ・算数における全学年習熟度別指導を行う。
 - ・朝学習の時間にデジタル及び紙ベースの練習問題に取り組み、基礎的・基本的な内容の定着を図る。
 - ・生活科、総合的な教科等横断的な学習を通して、自ら課題を設定し、主体的に考え、探究する力を育む。
 - ・学習者用端末を効果的に活用し、個別最適な学びとなるような授業展開となるようにする。
 - ②じょうぶな子(体力向上)
 - ・運動能力の課題を踏まえ、体力の向上を目指し上宿パワーアップタイムに学校全体で取り組む。
 - ・運動量を確保した体育授業を実施するとともに、体力調査の結果に基づいた体育授業の改善を図る。
 - ・体育の授業力向上のため、他の学級の体育の授業を学期に一回以上、相互参観する。
 - ・食育指導を充実させ、自ら考えて、バランスよく栄養を取ろうとする児童を育てる。
 - ③やさしい子(豊かな心の育成)
 - ・「親切・思いやり」を重点として道徳教育を推進する。
 - ・人権意識を高め、互いのよさや違いを認め合えるようにし、自他を思いやる心を育む。
 - ・こども同士及びこどもと教職員の信頼関係を築き、学校や学級での居場所をつくる。
 - ・学校いじめ基本方針を全職員で周知徹底し、教職員間の情報共有を進め、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努める。
 - ・不登校児童、不登校傾向児童に対してのつなぐルームの効果的な運用や組織的な対応を確実に実施する。
 - ・月に1回、朝の時間を活用し情報モラル教育を推進する。
 - ④がんばる子(最後まで取り組む意識の向上)
 - ・学校行事や授業等で目標を明確に示し、最後まで粘り強く取り組むことができるような活動を行う。
 - ・こどもたちの取組を価値付け、自己肯定感を高める。



小平第一中学校

所在地 小平市仲町506番地
電話 042-341-0048 **FAX** 042-341-0609
電子メール gakkou@31.kodaira.ed.jp
校長 堀井 賢治 **副校長** 小野 定則
生徒数 476名
学級数 16学級（うち特別支援学級（知的障害〔固定〕）3学級）
教職員数 28名

【沿革】（抜粋）

昭和22年 小平町立小平中学校開校
 23年 校章制定
 25年 校旗制定
 28年 校歌制定
 32年 小平町立小平第一中学校と校名変更
 33年 新校舎二階建増築落成
 36年 標準服制定
 37年 小平市立小平第一中学校と校名変更
 40年 体育館完成
 42年 プール完成
 43年 鉄筋四階建校舎増築落成
 平成3年 新体育館・屋上プール落成
 9年 創立50周年記念式典挙行
 11年 総合学習室・図書室新築工事完了
 11・12年 文部省 スクールカウンセラー活用調査研究委託校
 12・13年 文科省 生徒指導総合連携推進事業
 15～17年 文科省人権教育総合推進事業
 18～20年 文部省委託研究「新教育システム開発プログラム」研究協力校
 19年 創立60周年記念式典挙行
 20年 小平市教育委員会研究推進協力校
 21年 小平市教育委員会研究発表
 24年 小平市教育課題研究校
 デジタル教科書等活用研究
 28・29年 東京都教育委員会人権尊重教育推進校
 小平市教育委員会研究推進校
 令和4年 東京都型学校運営協議会設置
 5年 コミュニティ・スクールに移行
 6年 小平市教育委員会研究推進校（2年次）

【教育目標】

人権尊重の精神を基調とし、生徒一人一人の持続的な幸福の実現を目指し、次の目標を掲げる。

○賢い生徒

学業成績だけでなく、問題解決や自己表現、他者への共感等の力をもった生徒を育成する。

○協働する生徒

よりよい人生や社会の実現に向けて、他者を理解し、協同する力をもった生徒を育成する。

○くじけない心のある生徒

困難や逆境に出会っても折れない心のしなやかさや回復する心の強さをもった生徒を育成する。



学習者用端末を
活用した授業



【学校の教育目標を達成するための基本方針】

令和7年度に取り組む11の施策と31の具体策

- 1 学力の向上を目指した指導の充実
 - ① 探究学習への取組
 - ② 協働する生徒の育成に向けた取組
 - ③ 個別最適な学びに向けた支援の実施
 - ④ 学習意欲を向上させる指導の充実
- 2 読書活動の充実・推進
 - ① 読書の質と量の向上にかかわる取組
 - ② 学校図書館を活用した学力向上の推進
 - ③ 読書環境の整備
- 3 教育のDX化の推進
 - ① ICTを活用した学習指導への取組
 - ② 校務の効率化・省力化に向けた活用
- 4 進路学習の充実
 - ① 計画的なキャリア教育の実施
 - ② 進学に向けた指導の充実
- 5 豊かな人間性の育成
 - ① 人権意識の定着
 - ② 他者への共感力を高める指導の推進
 - ③ レジリエンスの育成
 - ④ 校内規律の確立
 - ⑤ 学校行事による生徒の実践的な力の育成
 - ⑥ 部活動の充実と適正な実施
- 6 いじめ・不登校等への対応
 - ① いじめ防止に向けた指導の徹底
 - ② 不登校対策の実施
- 7 特別支援教育の充実
 - ① 生徒一人一人のニーズを意識した教育の実施
 - ② I組の指導の充実と通常学級との交流及び共同学習の推進
 - ③ 特別支援教室との連携と活用の推進
 - ④ 生徒情報の共有と生徒の状況に応じた指導の実施
- 8 安全教育の充実
 - ① 実践的な避難訓練の計画・実施
 - ② 情報モラル教育の実践
- 9 健康・体力の向上
 - ① 自らの健康・体力について考え行動できる生徒の育成
 - ② 「心の健康」に向けた取組の推進
- 10 コミュニティ・スクールによる取り組みの実施
 - ① 学校運営協議会の活動の活性化と支援
 - ② 外部の教育力の積極的な活用
- 11 信頼される学校づくりに向けた取り組みの実施
 - ① 服務規律の確立
 - ② 積極的な情報発信の実施



小平第二中学校

所在地 小平市小川東町一丁目17番1号
電話 042-341-0244 **FAX** 042-341-1962
電子メール gakkou@32.kodaira.ed.jp
校長 吉田 功 **副校長** 相澤 史彦
生徒数 552名
学級数 19学級（うち特別支援学級（知的障害〔固定〕）3学級
（うち特別支援学級（情緒障害〔固定〕）1学級）

教職員数 34名

【沿革】（抜粋）

昭和30年 小平町立小平中学校分校として開校
分校開校式、落成祝賀式
32年 小平町立小平第二中学校として独立開校
独立開校式を11月1日に行い、この日を創立記念日と制定
37年 創立5周年を記念して校歌制定
42年 体育館兼講堂落成・半地下循環プール完成
53年 創立20周年記念式典
54年 心障学級開設
62年 創立30周年記念式典
平成9年 創立40周年記念式典
12年 パソコン室改装
13・14年 市研究推進・協力校
14～16年 都二中地区教育サポートネット事業
15～17年 文科省人権教育総合推進事業
17～19年 都地域教育プラットフォーム事業
17・18年 東京学芸大学「ユビキタス教育実践」協力校
19年 創立50周年記念式典
21・22年 市研究推進校
24年 武蔵野美術大と連携 学校美術館化事業（ムサビる！）
25～27年 特色ある教育活動「自ら進んで学ぶ生徒の育成」
29年 創立60周年記念式典
29・30年 市研究推進校研究発表
30年 東京都型学校運営協議会設置
31年 小・中連携型コミュニティ・スクールに移行
令和4年 単独型コミュニティ・スクールに移行
7年 自閉症・情緒障がい特別支援学級開設
小平市教育委員会研究推進校（2年次）

【教育目標】

- ・自ら考え、正しく判断し、積極的に実践する人間
- ・明るく健康で、情操の豊かな人間
- ・社会の一員として、協力し、向上に努める人間
- ・相手の人格や立場を尊重する人間

【目指す学校像・教師像】

- (1) 上級生が下級生のお手本になる学校。
- (2) 面倒見が良く、心の熱い教員がいる学校。
- (3) 落ち着いており、生徒・保護者・地域から信頼される学校。

以上を「二中ブランド」として位置付け、実現に向け努力していく。



合唱コンクール
全体合唱



【教育目標を達成するための基本方針】（抜粋）

(1) 生徒のウェルビーイングを高める

- ①規則正しい生活リズムづくりと食育の推進
- ②いじめ防止と「生命（いのち）の安全教育」の実践
- ③学級を基盤とした係・委員会、班活動の充実
- ④学校行事（RIKUTAI、合唱コンクール、校外学習、宿泊行事）を通じた生徒の自主性の育成
- ⑤「生活ノート」や「WEBQU（ウェブキューユー）」、各種アンケートを通じた生徒理解と個に応じた対応の実施、教育相談の充実
- ⑥オンラインICT教材「e-board（イーボード）」、校内学習支援教室、小平市教育支援室「あゆみ教室」による重層的な校内支援の実施
- ⑦上級生がお手本になる「二中ブランド」の継承
- ⑧通常の学級と特別支援学級G組・S組との学校行事等を通じた交流
- ⑨部活動を通じた他者との交流、自己技術の向上、学習との両立
- ⑩清掃の行き届いた清潔な学習環境づくり

(2) 生徒の学ぶ意欲や学力を向上させる

- ①朝読書の実施・継続
- ②二中スタンダード（UD（ユニバーサルデザイン））に基づく、わかる授業づくり
- ③主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善
- ④考える道徳の実践
- ⑤各種講演会・職場体験の実施、二中版「7つの習慣」づくりと推進を通してのキャリア教育の充実
- ⑥キャリアパスポートを活用した目標設定と自己評価活動の実施
- ⑦ICT機器や学習者用端末の積極的な活用
- ⑧オンラインICT教材（「e-board（イーボード）」）による家庭学習の支援（全学年）
- ⑨生徒の非認知能力を高める校内研究の実施
- ⑩特別支援教室「一橋」と連携した指導による生徒の安心と自信の向上

(3) 家庭や地域との連携を強化する

- ①学校公開や道徳授業地区公開講座の実施
- ②各種保護者会及び年2回三者面談の実施
- ③各種便り、ホームページ、メールによる情報発信
- ④地域人材・地域教育コーディネーターとの協働
- ⑤小・中連携の日や新入生体験入学・部活動体験（見学）を通じた小・中連携の取組の充実
- ⑥「副籍」による特別支援学校との交流実施
- ⑦学校経営協議会の充実と学校評価に基づく学校改善
- ⑧「相談フォーム」への速やかな対応による信頼の構築
- ⑨避難所開設準備委員会と連携した避難訓練の実施
- ⑩青少年や地域イベントへの生徒の協力

(4) 教職員一人一人が高い志をもち、指導力・組織力を高める

省略（10項目の取組指標・詳細は本校HPに掲載）



小平第三中学校

所在地 小平市鈴木町一丁目311番地
電話 042-341-0575 **FAX** 042-341-0619
電子メール gakkou@33.kodaira.ed.jp
校長 平沢 晃 **副校長** 鈴木 勝博
生徒数 723名
学級数 23学級(うち特別支援学級(知的障害〔固定〕)3学級)
教職員数 39名

【沿革】(抜粋)

昭和35年 小平町立小平第一中学校分教室として発足
 小平町立小平第一中学校分校として開校
 分校開校式、開校祝典挙行
 36年 小平町立小平第三中学校として創立
 初代校長 金丸勝人就任
 開校式挙行 この日を開校記念日に制定
 小平第三中学校「父母と先生の会」(PTA)創立
 校章制定・校旗披露式
 37年 校歌制定、発表式
 小平市立小平第三中学校と校名改称
 38年 二代校長 佐川定之助就任
 40年 学校プール竣工
 43年 体育館竣工
 44年 三代校長 玉城 佑彦就任
 45年 岩石園完成
 47年 四代校長 羽崎 一男就任
 49年 五代校長 菊地 全明就任
 52年 六代校長 上沼 舜二就任
 56年 20周年記念式典、祝賀会挙行
 57年 七代校長 相沢 周三就任
 62年 八代校長 坂本 忠夫就任
 平成2年 九代校長 近藤 實就任
 3年 30周年記念式典、祝賀会挙行
 5年 十代校長 武田 一朗就任
 8年 十一代校長 菊池 章雄就任
 12年 十二代校長 竹内 良夫就任
 13年 40周年記念式典、祝賀会挙行
 16年 十三代校長 加藤 忠就任
 20年 特別支援学級(8組)開級
 23年 50周年記念式典、祝賀会挙行
 25年 十四代校長 田口 克敏就任
 27年 十五代校長 峯岸 貴彦就任
 令和3年 十六代校長 田村 孝夫就任
 60周年記念式典
 5年 十七代校長 平沢 晃就任
 6年 東京都型学校運営協議会設置
 7年 東京都教育委員会安全教育推進校
 コミュニティ・スクールに移行

【教育目標】

健康 ゆたかな心 たくましいからだ
実践 進んで学び、積極性を養う
協力 ひとりみんなのために みんなはひとりのために



運動会・閉会式



【目指す学校像】

- 1 こどもにとって「安心して自己実現のできる学校」
- 2 保護者にとって「信頼でき、協力したくなる学校」
- 3 教職員にとって「チームとして力を生かし、主体的に課題を解決できる学校」
- 4 地域にとって「内外に開かれ、地域とともに歩む学校」

【今年度の取組】

- ① 生きる力の育成
 - ・三つの考える力(自分を考える力、学習を考える力、人を考える力)の育成
 - ・教育活動全体を通し、キャリア教育の視点に立ち、生徒一人一人の個性・能力の伸長を図り、長所を伸ばす指導に努め、将来の目標に向けて努力する態度と自尊感情・自己肯定感を育む。
- ② 確かな学力の育成と学習意欲の向上
 - ・授業の充実(3中スタンダードの実施)
 - ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
 - ・自主学习支援(地域未来塾・学習者用端末の活用)
- ③ 特別支援教育の充実
 - ・校内委員会の充実を図り、特別支援教育の視点を踏まえた合理的な配慮を進め、特別な支援を必要とする生徒への丁寧かつ適切な指導を行う。
- ④ 豊かな心の育成
 - ・あいさつと礼儀、マナーを大切にする。
 - ・人権教育の推進
思いやりの心を育み、いじめを許さない、偏見や差別のない豊かな人間関係を築けるよう教育活動全体を通して指導する。
 - ・道徳教育の充実
自己の生き方や行動の在り方を深める、「考え、討論する道徳」を推進する。
 - ・体験活動の充実
学校行事、体験的な活動の充実を図り、生徒の自己実現の機会を多くし、主体的に考え、行動する力を育成する。
- ⑤ つよい心と健やかな体の育成
 - ・教育相談の充実
 - ・自他の生命と安全を尊重する態度の育成
 - ・防災教育の推進
 - ・豊かなスポーツライフの創造
- ⑥ こどもたち、保護者、地域から信頼される学校づくり
 - ・安全管理、安全指導、安全点検の徹底
 - ・環境の整備(人的環境・物的環境)
 - ・情報発信(たより、学校メール、HPの活用)



小平第四中学校

所在地 小平市学園西町一丁目3番1号
 電話 042-341-4344 FAX 042-341-4258
 電子メール gakkou@34.kodaira.ed.jp
 校長 関 勝志 副校長 池上 大輔
 生徒数 548名 学級数 16学級
 教職員数 36名

【沿革】 (抜粋)

- 昭和39年 第1期工事着工 小平第四中学校設立市議会議決
 40年 第1回入学式・開校式 校章制定
 41年 校歌制定・翌27日発表会
 42年 校旗樹立式 湯川秀樹博士門標取付
 46年 47年度より第一中学校区の一部を本校学区に編入
 50年 創立10周年記念式典
 51年 上水中学校開校により本校学区変更
 56年 老人福祉の善行表彰受賞
 60年 創立20周年式典
 平成元年 東京都進路指導研究推進校指定
 4年 パソコン教室完成
 7年 創立30周年記念式典
 10年 東京都「いじめ等の協力推進」指定
 15年 小平市研究推進校指定 (平成16年 研究発表)
 17年 創立40周年記念式典
 20年 耐震補強及び大規模改修工事完成
 23年 小平市研究推進校指定 (平成24年 研究発表)
 26年 一橋学級 (通級学級) 開設
 27年 創立50周年記念式典
 令和2年 小平市教育委員会研究推進校 (2年次)
 5年 体育館冷暖房設備設置工事竣工
 東京都型学校運営協議会設置
 6年 コミュニティ・スクールに移行
 7年 創立60周年記念式典

【教育目標】

「正しく学び 自他を尊重し
 たくましく生きる力を育み ふるさとと共に歩む」

【教育目標を達成するための基本方針】

- ①生徒が持続可能な社会の創り手となることをめざして自立を支援するとともに、共生社会を形成し社会に貢献する資質と態度を育成する。「誰一人取り残さない学校」を実現する。
- ②望ましい学習習慣を形成し基礎学力の定着を図る。「主体的・対話的で深い学び」の実現ために指導方法を工夫・改善するとともに、習得した知識・技能を活用する学習活動の充実を図り、「確かな学力」を育成する。
- ③社会的課題解決や自己実現を目指し、主体的に情報を収集したり、分析したり、表現したりするとともに、他者と協働し新たな価値を創造するための情報活用能力を育成する。
- ④道徳教育を充実し、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てるとともに、体験的活動や探究活動を充実し、社会性や創造性、表現力を育み、「豊かな人間性」を育成する。



創立60周年記念運動会 3年生大ムカデ競争



- ⑤保健体育の授業や体育的活動、部活動を通して体力の向上を図り、生涯にわたり主体的に運動に親しむ資質と能力を身に付け、食育など健康教育を充実し、健康と体力を育成する。
- ⑥人権尊重の精神に基づき、人権教育及び道徳教育を通して規範意識を醸成し、生命尊重や思いやりの心を育て、いじめ及び暴力行為を根絶する。また、自己肯定感を高め、SOSの出し方に関する教育を推進し、自殺の未然防止を徹底する。
- ⑦インターネットやSNSの利便性の陰に隠れた危険性や弊害など正しい知識を身に付け、健康で安全な生活と望ましい人間関係の構築のために適正な使い方を指導する。性暴力の加害者や被害者にならないよう生命の安全教育を推進する。薬物乱用防止について「ダメ、ゼッタイ」の指導を徹底する。
- ⑧全教職員が障がいや特別支援教育、不登校への理解を深め、コーディネーターを中心に校内支援委員会を効果的に機能させ、支援が必要な生徒に対して適切な支援を積極的に行う。カルガモ教室の運用やユニバーサルデザインの視点での環境整備、授業改善を推進し、多様な学びの場を提供する。
- ⑨将来の生き方について考え、夢や目標をもち、主体的かつ適切に進路選択する資質と能力を養うとともに、社会的・職業的自立と自己実現を目指したキャリア教育を推進する。
- ⑩オリンピック・パラリンピック教育の「学校2020レガシー」として、ボランティアマインド及び障がい者理解を設定し、ESDと関連付けた教育活動を推進する。
- ⑪SDGsについて理解を深め、各教科及び道徳科、総合的な学習の時間、特別活動等の内容と関連付けるとともに、防災及び環境問題の解決に重点を置いてESDを推進する。
- ⑫コミュニティ・スクールとして、学校経営協議会を基盤とし、地域と一体となった魅力ある学校づくりを推進する。地域教育コーディネーターや青少対、自治会など地域との連携を強化し、近隣大学と連携し、教育環境の整備や人材の確保、教育資源の活用、防災・防犯体制の構築等を推進する。
- ⑬創立60周年記念の取組を通して、学校の歴史と伝統を理解し、将来への展望を描き、自らの学校生活を充実させようとする愛校心と、地域に感謝し愛する郷土愛を培う。
- ⑭学校公開や行事、保護者会、面談等を活用して信頼関係を構築し、学校と家庭が一体となった教育活動の充実及び家庭の教育力の向上を図る。保護者評価を学校経営に反映させる。
- ⑮9年間を見通した四中校区の小・中連携教育を推進し、同じ目標に向かって「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育成する。また、児童会と生徒会の交流活動を推進する。

【特別支援教室「一橋」の教育目標】

- (1) 自己理解や自己受容を深め、意欲をもって生活する。
- (2) 友達及び教師と円滑で望ましい人間関係を形成する。
- (3) 学習及び生活上の困難を主体的に克服し、自立する。
- (4) 将来の生き方を考え、夢や目標をもって生きていく。

【一橋学級の教育目標を達成するための基本方針】

- ①校内委員会での情報共有とともに、専門家の助言により、指導内容の評価・改善を図り、より効果的な支援を行う。
- ②自己肯定感を育むとともに、コミュニケーションスキルを身に付け、在籍学級で安心して生活できるようにする。
- ③個に応じた指導及び教材の効果的な活用を通して自立を支援し、よりよく生きる力を身に付ける。
- ④キャリア教育を通して自己肯定感を高め、主体的に進路選択し、夢や目標をもち逞しく生き抜く力を身に付ける。



小平第五中学校

所在地 小平市小川町一丁目798番地
電話 042-341-6795 **FAX** 042-341-6797
電子メール gakkou@35.kodaira.ed.jp
校長 伊藤 克行 **副校長** 木村 一史
生徒数 643名
学級数 20学級（うち特別支援学級（知的障害〔固定〕）3学級）
教職員数 35名

【沿革】（抜粋）

- 昭和46年 小平市立小平五中学校開校（開校記念日6月7日）
 プール完成
 47年 体育館完成
 48年 校歌制定 第1回卒業式（4学級 150名）
 49年 市研究推進校発表
 56年 創立10周年
 58年 市研究奨励校発表
 61年 校舎大規模改修工事開始
 平成3年 創立20周年
 5年 校舎大規模改修工事終了
 8年 市研究奨励校発表
 12年 P T A組織制定
 13年 創立30周年
 17年 小平市教育委員会研究協力校
 18年 学校支援ボランティア活動開始
 21年 特別支援学級8組開設
 23年 創立40周年
 25年 市教育研究発表
 29年 パラリンピック応援校
 31年・令和2年 東京都教育委員会「法」に関する教育推進校
 N I E実践指定校
 2年 小平市教育委員会研究推進校（2年次）
 3年 創立50周年
 4・5年 「性教育の授業」実施校
 6年 東京都型学校運営協議会設置
 7年 コミュニティ・スクールに移行

【教育目標】

人間尊重の理念を正しく理解し、健康で自ら学ぶ意欲にあふれ、自然と平和を愛し国際社会に貢献できる生徒の育成をめざし次の目標をおく。

- 考える人間
 - たくましい人間
 - 思いやりのある人間
- この目標をもとに、知・徳・体のバランスのとれた生徒を育てる。
- ・自ら学び、考えて行動できる人間（知）
 - ・心身ともに健康で、柔軟でたくましい人間（体）
 - ・互いの人格を尊重し、思いやりにあふれる人間（徳）



「感動体験」心を合わせて歌った合唱コンクール



【教育目標を達成するための基本方針】（抜粋）

- (1) 人権尊重教育の推進
 - ・十分な生徒理解の上に立って、学年・学級経営を行う。
 - ・人を傷つける言動があった場合には即時に対応する。
 - ・生徒が起きている問題を自分事として捉え、解決に向かっていけるような学年・学級経営を行う。
- (2) 学習指導要領の実現に向けた授業改善と教育活動の充実
 - ・学力向上を目指した指導方法の工夫を行う。
 - ・健康や食への関心を高め心身の健康作りを奨励する。
 - ・ICTを活用した教育活動の工夫を行う。
- (3) 生徒の健全育成に向けた特別活動と生徒指導・進路指導の充実
 - ・特別活動を充実させ、生徒が主体的に生徒会活動や学校行事に取り組むことができるようにする。
 - ・教職員が生徒理解に努めるとともに、教職員全体で共通理解、共通実践を徹底し、生活指導を充実させる。
 - ・特別活動を要として、教科横断的にキャリア教育の充実をはかる。
 - ・部活動の教育的意義を踏まえ、ガイドラインに沿った適切な運営体制の下、効果的な部活動を実施する。
- (4) 特別支援教育の充実
 - ・特別な支援を必要とする生徒一人一人の個に応じた指導を組織的に推進する。
 - ・ユニバーサルデザインの視点をもって教育環境の整備及び授業改善を行う。

【特色ある教育活動】

- ①校内研究
 - 「主体的・対話的で深い学び」「特別な支援を必要とする生徒に対する授業内の支援」を柱として研究に取り組む。
- ②朝読書
 - 始業前に読書を行い落ち着いて一日をスタートさせる。
- ③あいさつデー
 - 毎月5のつく日の内一日を「あいさつデー」とし、生徒会役員や専門委員が登校する生徒にあいさつを呼びかける。
- ④児童会・生徒会サミット
 - 校区の小学校と連携し、テーマに基づく協議を行い、各校のこどもたちの実践的・自治的活動を推進する。
- ⑤性教育、多様性理解授業の推進
 - 性被害の防止や性の多様性への理解、人権尊重を目的として各学年で年1回、授業を実施する。
- ⑥学校支援ボランティア
 - 保護者・地域・学生等が、学校支援ボランティアとして教育活動や環境整備等の支援を行う。また、地域人材を活用した、「放課後学習教室」を開設する。



小平第六中学校

所在地 小平市大沼町六丁目4番1号
 電話 042-341-6796 FAX 042-341-6798
 電子メール gakkou@36.kodaira.ed.jp
 校長 大島 義明 副校長 石塚 武志
 生徒数 588名 学級数 17学級
 教職員数 32名

【沿革】 (抜粋)

昭和46年 小平市立小平第六中学校開校
 教育目標及び図案化した校章を決定
 47年 南棟鉄筋校舎完成、体育館竣工
 48年 校旗・校歌制定
 49年 文部省、東京都主催陶芸研究会実施
 50年 市教育推進校として研究発表会実施
 53年 南棟増築校舎完成
 56年 創立10周年記念式典
 57年 校舎増改築・体育館倉庫工事完了
 60年 校舎外装工事・屋上改修工事完了
 平成3年 創立20周年記念式典
 6年 コンピューター室、新視聴覚室完成
 13年 創立30周年記念式典
 17年 北校舎耐震補強工事
 18年 第2期耐震補強工事
 20年 プール改修工事
 23年 創立40周年記念式典
 24年 普通教室エアコン設置工事
 25年 コミュニティ・スクールの推進への取組研究委託校 (文部科学省)
 26年 コミュニティ・スクールに指定
 28年 スーパーアクティブスクールに指定
 令和3年 創立50周年記念式典挙行
 小平市教育委員会研究推進校 (2年次)
 5年 体育館冷暖房完備
 7年 特色ある教育活動推進校

【教育目標】

敬愛 自他を尊重し、何事にも感謝の気持ちをもって、助け合い、励まし合う思いやりのある生徒
 勤勉 仕事や勉強などに最善を尽くして努力し、自分の行動に責任をもつ生徒
 創造 自ら学ぶ意欲をもち、他者との対話や協働を通してより価値のあるものを創り出していく生徒



学習者用端末を活用した授業



【目指す学校像】

- 1 自らに可能性を感じ、主体的に活動し、将来に向けて挑戦できる魅力ある学校
- 2 安心と信頼があり、子供を通わせたい学校
- 3 地域住民や保護者、関係者・学校が協働して、生徒の成長を支えていく、地域と共に歩む学校

【3つの力の育成に向けた10の取組】 (主な取組)

- ① 学力 (新しい時代の創造を生み出す学力) の向上
 - ・毎日の授業を大切に (対話的協働的学びへの改善、新・六中スタンダード)
 - ・朝読書の徹底、家庭学習の充実 (自主学習支援、学習支援ソフトの利用) ・タイムマネジメントの継承 他
- ② 生活指導の充実
 - ・生徒や保護者との信頼関係が基本 ・いじめを許さない
 - ・生徒の自発性と主体性を育む生徒会活動の充実 他
- ③ 自己実現の達成を図る
 - ・生きる力の育成 (進路・進学指導の充実)
 - ・人間関係形成力の育成 (特別活動の充実)
 - ・コミュニティ・スクール、キャリア教育との連携 他
- ④ 心身の健康促進
 - ・体力向上と適正な生活習慣づくり
 - ・食育の充実 他
- ⑤ 地域の教育力の活用と小中連携教育の推進
 - ・コミュニティ・スクール各種プロジェクトの推進
 - ・六中地区コミュニティ・スクールとの連携を推進 他
- ⑥ 家庭・地域社会との連携
 - ・情報発信の充実、学校、学年、学級便りの発行
 - ・地域との連携 ボランティア活動の充実 他
- ⑦ 環境教育と環境の整備
 - ・学習環境の整備
 - ・毎月の安全点検の実施、迅速な対応
 - ・校舎内外を明るく 季節を感じる環境作り 他
- ⑧ 防災教育の充実
 - ・防災教育・安全指導の実施 自助・共助・公助
 - ・避難訓練の充実
 - ・保護者・地域との連携 (いっとき避難所) 他
- ⑨ 特別支援教育の推進
 - ・特別支援教育校内委員会の充実
 - ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとの連携・学校運営協議会との連携 他
 - ・不登校生徒への支援 (学習支援ソフトにより学び直し、小平福祉園との連携による学習教室、農園芸教育の推進による社会性の保障)
- ⑩ 学校事務における管理や適正化
 - ・分掌との円滑な連携と効率的な予算執行
 - ・適正な会計処理や会計事故の防止
 - ・服務規律の徹底、法令遵守 等



上水中学校

所在地	小平市上水南町一丁目7番1号
電話	042-323-8611 FAX 042-323-8610
電子メール	gakkou@37.kodaira.ed.jp
校長	栗林 昭彦 副校長 藤本 達
生徒数	320名
学級数	13学級（うち校内別室学級3学級）
教職員数	30名

【沿革】(抜粋)

昭和50年	市議会において、小平市立上水中学校を7月1日付で設置する旨議決 開校記念式及び始業式挙
51年	体育館完成
52年	東京都北多摩特別活動研究発表校
57年	給食開始
60年	小平市教育奨励校 創立10周年記念式典挙
平成3年	文部省中学校生徒指導総合推進校
6年	コンピュータールーム完成
7年	創立20周年記念式典挙
11年	小平市教育委員会研究推進校
12年	小平市教育委員会研究協力校
14年	プール改修工事完了
17年	創立30周年記念式典挙
18年	小平市教育委員会研究推進校
19年	小平市教育委員会研究協力校
21年	校舎耐震工事Ⅰ期
22年	校舎・体育館耐震工事Ⅱ期
23・25年	東京都言語能力向上推進校
26・27年	小平市教育委員会研究推進校 創立40周年記念式典挙
27年	放課後子ども学習教室開始
28・29年	東京都道徳教育推進拠点校 コーディネーショントレーニング地域拠点校
30年	上水中避難所マニュアル完成
31年	オリンピック・パラリンピック教育推進事業 「夢・未来プロジェクト」実施 オリンピック・パラリンピック教育推進事業 パラリンピック競技応援校
令和4年	小平市教育委員会研究推進校（2年次）
5年	東京都型学校運営協議会設置
6年	チャレンジクラス（不登校対応校内分教室） 「上水さくら学級」開設 コミュニティ・スクールに移行
7年	創立50周年記念式典挙



体育大会応援旗



【教育目標】

人間尊重の精神を基調とし、知性、感性、道徳心や体力を育み、生涯を通じ主体的に学び、社会に貢献できる人間性豊かな生徒の育成を目指し、教育目標を次のように定める。

- 自ら考え、進んで実行する人
- 心豊かで思いやりのある人
- 心身ともにたくましい人

【教育目標を達成するための基本方針】

- 1 確かな学力の育成
 - 生徒が自ら学び、考えを深め、実践に移す力を身に付けさせるために、基礎・基本の定着に重点を置きながら問題解決型学習（生徒に調べさせ、考えさせ、討議させ、発表などを行わせ、その活動を振り返らせる）の実践に努め、授業改善に取り組む。
 - 家庭との連携の下、学習習慣を確立させ、自立した生徒を育成する。
 - 少人数授業や個別学習を通して苦手意識の強い生徒の学力の底上げを図る。
 - 令和3・4年度の研究推進校として取り組んだ「ICTを活用した授業改善・指導の充実」の成果を生かし、また新たな課題に対処する継続した取組により、学力向上を図る。
- 2 豊かな心の育成と健やかな体の育成
 - 道徳科を要として教育活動全体を通して、自他共に大切にできる心や、相手の立場に立って行動できる態度を身に付けさせる。加えて高い規範意識の育成に努め、互いに人格を認め合う姿勢を育み、いじめのない学びの場を構築する。
 - 保健体育の授業や昼休みにおける運動量を一層確保して、体力を向上させる。また、薬の教室、SOSの出し方に関する教育など保健分野の授業の充実を図る。
- 3 特別支援教育の推進
 - こだいら共通プログラムを踏まえた上で、特別支援教育を柱とした教育活動を実践する。また、小平第三小学校と連携を深め、一貫性・継続性を重視した教育の実践に努めるとともに、学習者用端末をはじめICT機器の効果的な活用についての連携も図る。
- 4 キャリア教育の推進
 - 学級活動を要としながら、学校教育全体を通して一人一人のキャリア形成と自己実現を促す。
 - 学区内の全小学校との連携を図るため、キャリア・パスポートを活用する等、学校段階間の円滑な接続を目指す。



花小金井南中学校

所在地 小平市花小金井南町一丁目9番1号
電話 042-465-0451 **FAX** 042-465-0410
電子メール gakkou@38.kodaira.ed.jp
校長 荒木 忍 **副校長** 飛永 直子
生徒数 584名
学級数 19学級（うち特別支援学級（知的障害〔固定〕）3学級）
教職員数 33名

【沿革】（抜粋）

- 昭和53年 生徒291人、7学級で開校
 花南中学校新築落成及び開校記念式典挙行
 プール竣工、体育館竣工、校章制定
- 54年 校歌制定
- 56年 「ゆりの木」17本植樹（緑の銀行寄贈）
- 60年 防災・防震受水槽設置
 58・59年度小・中連携教育研究発表会
- 62年 特別教室4教室竣工
 創立10周年記念式典
- 平成6年 生垣工事完成
 校舎改修
- 9年 創立20周年記念式典
- 10年 心の相談室設置
- 13年 全日本中学校技術・家庭科研究大会研究授業、研究発表
 「生きる力」をはぐくむ、総合的な学習の実践について研究発表
- 19年 創立30周年記念式典
 小平市研究協力校
- 20年 耐震補強工事
 小平市研究協力校発表
- 21年 「特色ある教育活動」研究発表
- 22年 増築棟完成
- 23年 特別支援学級開設
- 24年 東京都「自尊感情や自己肯定感を高める教育」推進校
- 24・25年 東京都スポーツ教育推進校
- 27年 オリンピック・パラリンピック教育推進校
 小平市教育委員会指定 研究推進校1年次
 「共により良く生きるための道徳授業の実践」
- 28年 小平市教育委員会指定 研究推進校2年次
 「共によりよく生きるための道徳の時間の実践」
- 29年 創立40周年記念式典
- 令和2年 地域開放型体育館完成
- 3年 パラリンピック競技応援校「ボッチャ」
 旧体育館跡地にテニスコート完成
- 4年 東京都型学校運営協議会設置
- 5年 小平市教育委員会研究推進校（2年次）
 コミュニティ・スクールに移行



【教育目標】

豊かな心を養い
 学力、体力の向上をめざし
 未来へはばたく人物を育成する

- 1 心身ともに健全で、自らを鍛え努力する人
- 2 進んで学び、社会のために尽くす人
- 3 認め合い、支え合う心優しい人

【教育目標を達成するための基本方針】

- コミュニティ・スクールとして、社会に開かれた地域と共に歩む学校づくりを推進する。学校からの情報発信を積極的に行い、関係小学校や青少年対策地区委員会、民生委員等、外部人材との連携体制を推進する。
- 全ての生徒に「生きる力」を育むことを目指し、生きて働く知識、技能の習得と未知の状況でも対応できる思考力、判断力、表現力等の育成、学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等の涵養を相互に図りながら、豊かな創造性を備え持続可能な社会の創り手となる生徒を育成する。令和4年度から2年間の小平市の研究推進校の指定を受け、特別支援教育の視点に立った環境づくり・ICT機器の積極的な活用から主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組む。誰にでも分かりやすい授業を推進し、生徒の確かな学力の向上を図ることにより、生徒の力を鍛え、自信をつけさせる。
- 全教育活動を通して道徳教育を行い、いじめや偏見・差別のない好ましい人間関係を育み、他と協力ができる思いやりや心の豊かな人間性・社会性の育成を図る。障がい理解学習や福祉に関する学習を進め、人権尊重の精神を育む。また、「特別の教科 道徳」の時間の充実を図ることで心の教育を推進する。
- 生涯にわたって運動やスポーツを豊かに実践していくとともに、現在及び将来の体力の向上を図る実践力の育成を目指し、生徒が自ら進んで運動に親しむ資質・能力を身に付け、心身を鍛えることができるようにする。また、パラリンピック競技応援校の取組を継続し、スポーツの価値や効果を再認識するとともに、国際的な視野をもって世界の平和や多様性の尊重の精神を育み、社会で活躍できる人材の育成に努める。また、日本文化を大切にするとともに、これらを尊重する態度を育成する。
- 家庭や地域社会及び関係機関等との連携・協力を密にし、生徒の健全育成を広い視野から考える開かれた生徒指導の推進を図る。
- 地域社会や生徒の実態に応じ、創意工夫を生かした総合的な学習の時間を計画し、豊かな心や創造性の涵養をめざす。体験活動等、多様な表現や鑑賞の活動等を通して、勤労を尊ぶことや、自ら課題を見つけ、自ら解決する資質や能力の育成を図る。
- すべての生徒に「生きる力」を育むことをめざし、基礎的・基本的な知識及び技能の習得と思考力、判断力、表現力等の育成、主体的に学習に取り組む態度の涵養をめざす。



特別支援学級7組の様子